

御殿場市市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案、市長に提出

日時：平成17年1月19日（水）14:30～15:30

場所：林業会館 第1研修室

参加委員：吉福、勝又、前田、佐々木、土屋、近藤、神保、鈴木(愛)、林、芹沢、鈴木(雄)、大塚、田代、南、沓間、小林 合計16名

事務局：菅沼企画部長、杉山、池田、鈴木、勝又（地域振興課）

1 市民会議の経過報告（説明：杉山課長）

市民会議委員のみなさんは、昨年8月に委嘱状の交付を受けたあと、8回の市民会議、3回の作業部会や世田谷のまちづくりセンターへの先進地視察等を経て、熱心な討論を重ねながら、無報酬で全くの白紙の状態から手作りの市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案を作成し、本日の提出に至った。

2 市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案提出

芹沢会長、田代副会長より、長田開蔵御殿場市長に市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案を手渡す。

3 提案理由説明（朗読：杉山課長）

市民協働型まちづくり推進指針（案）
市民提案理由を杉山課長が朗読。

4 市民会議委員より一言

芹沢会長 全くの白紙の状態から市民会議委員が熱心に討議し作り上げた市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案であり、このような手法は御殿場市が始まって



以来のことであったと思う。是非、御殿場市が誇れる市民協働型のまちに変わるために役立てていただきたい。市民会議委員より一言ずつコメントさせていただきたい。

委員 A 時間のたつのも忘れて討論した。市民協働型まちづくりの実現に向けて検討をしていただきたい。

委員 B 多くの市民の代表の意見を聞いた。ボランティア活動の活発化が市の元気の元になると感じた。

委員 C 市民の自分達が住むまちは自分達で作るのだという気持ちが強く伝わった。

委員 D 市民協働の言葉も知らなかったが、市民委員と交流してその必要性を強く感じた。市の職員は、市民の力を借りながら仕事をさせていただいていると思った。

委員 E 青年会議所の代表として参加させていただいたが、若い世代と行政といっしょにまちづくりを進められたら素晴らしいと思う。

委員 F 新しい分野の勉強で参考になった。世代交流施設に期待をしている。お供えのもちにならないようにしていただきたい。

- 委員 G 外の市民会議委員との会議で協働の心を知った。発表することもありがたく感動した。
- 委員 H いろいろと勉強になった。阪神淡路大震災の追悼式での天皇陛下のお言葉の中にもボランティアがでてきて感激した。
- 委員 I 協働は難しいと心配していたが身近な問題から考えたため、新鮮な勉強になった。
- 委員 J 市民アンケートを見るとボランティア活動をしている人が 14%、機会があれば参加したい人は 51%もいて、市民の参加意識は高いので、市民協働を積極的に推進して欲しい。指定管理者制度で NPO やボランティアに委託して欲しい。
- 委員 K 産みの苦しみより市民会議が楽しかった。市民は（市民協働に向けて）走りたくてうずうずしている。市民に追いつくように職員の教育をお願いしたい。
- 委員 L ふれあい給食で御殿場伝統の食事を作ると、年配者からいろいろ話が伺えて参考となる。伝統行事を是非残して欲しい。



委員 M 魂が入った条例作成をお願いしたい。市民の意欲がなえないように職員の人材育成をし、各部にそれぞれ中核になる職員を置いて欲しい。

委員 N 市民会議委員の活動に感動した。子どもの健全育成は大人の責任である。まちが健全だと子どもも健全になる。

委員 O 中国を旅行しているときに雪かきを各戸の責任で行っていた。まちを作るのは住んでいる人たち

である。行政に頼るのではなく住民ができることは住民がやることが重要である。

5 市長より挨拶

市民協働型まちづくり推進指針（案）市民提案、ありがとうございました。

3 年前に地域振興課を作ったときから「協働」を進めたいという意識があった。宮崎市がボランティアのまちづくりがさかんであるが、その状況を見てこれからのまちづくりに「協働」が大切であるという認識をもったが、三位一体が叫ばれる現在、市民と行政、企業、ボランティア共に力を発揮し、力を合わせ参画していくことが一層重要であると思っている。計画段階から市民に入っていただき、どう実行するのかも市民に検討していただき、地域づくりをすすめたい。「住んでみたい、住んでみた、住みつづけたい」というまちを目指したい。それが「協働のまちづくり」の目指すところであると思う。市民会議委員の皆様の協議の経緯を尊重しつつ、指定管理者制度の導入はもちろん、高齢者を中心とした心のつながりを大切に、伝統文化は残し、失われた伝統行事を取り戻しつつ子ども達に伝え大事に共有していき、もっと御殿場の魅力をつたえたい。それが安心安全なまちづくりにつながる。

皆様からいただいた提案を評価し続けていくしくみを作り、職員の人材育成も行い、「協働」によるまちづくり、市民が主役のまちづくりを進めていきたいと思う。本当にありがとうございました。

（市長退席）

6 今後の予定（事務局より連絡）

鈴木（事務局） 今日いただいた市民提案を受け、庁内検討委員会を2月1日（火）に予定しています。

その庁内検討委員会で出た意見を市民会議委員の皆様にお送りするため、2月8日（火）の19時より市役所5階で市民会議を予定しています。また、ご通知しますが、よろしく願いしたい。その後、状況に応じてもう1回ぐらい庁内委員会とのやりとりをした後に3月上旬、広く市民に公開し意見を求めます。その意見を参考に再度庁内委員会、市民会議とのやりとりを経て、3月下旬には市民協働型まちづくり推進指針として正式に出す予定です。